

(案)

骨子案

山口県総合計画

やまぐち 未来躍進プラン

～成長と安心の好循環の実現を目指して～

令和 8 年(2026年) 6 月

山 口 県

全体構成

第1章 はじめに

(策定の趣旨、性格と役割、計画期間)

第2章 山口県の現状を見る

(本県の人口減少の現状、本県を取り巻く環境、
本県の強みと潜在力、これまでの取組の成果)

第3章 県づくりの推進方向

(県づくりの基本目標、目指すべき将来像、
県政推進の基本姿勢)

第4章 新たな県づくりに向けた施策の推進

(新たな県づくりを推進する12の「成長・安心プロジェクト」)

第5章 新たな行財政改革の推進

(行財政基盤の一層の強化)

第6章 プランの着実な推進

(推進体制、進行管理)

第 1 章

はじめに

1 策定の趣旨

- ◆ 本県を取り巻く社会経済環境は、加速度的に進行する人口減少をはじめ、デジタル化や脱炭素化の急速な進展などにより、大きな転換期を迎えている。
- ◆ 特に、人口減少は、厳しさを増しており、今後、経済規模の縮小、地域活動の担い手不足、生活サービスの維持が困難となるなど、その影響は様々な分野において一層深刻化していくことが強く懸念される。
- ◆ こうした状況の下、人口減少に歯止めをかける取組を進めると同時に、本県の活力を維持・向上させ、県民一人ひとりが安心して将来に希望を持って暮らし続けられる県づくりを着実に進めていくことが求められる。
- ◆ このため、これまでの成果を基盤に、将来を見据えて先手を打ち、県民の生活をしっかりと守り抜きながら、社会全体を持続的に発展させていくため、県づくりを次なるフェーズへと進める新たな総合計画を策定する。

2 性格と役割

- ◆ 本県の持続的な発展を図っていくための新たな県政運営の指針として、今後、県が進める政策の基本的な方向を示す総合計画
- ◆ 県民をはじめ、市町、関係団体、企業、大学など多様な主体と共有し、共に取組を推進していくための指針
- ◆ 国の地方創生の趣旨を踏まえ、人口減少をはじめ県政が直面する諸課題に戦略的かつ総合的に対応していくため、県の総合計画を、まち・ひと・しごと創生法に基づく「総合戦略」として位置付ける

3 計画期間

- ◆ 2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までの5年間とする。

第 2 章

山口県の現状を見る

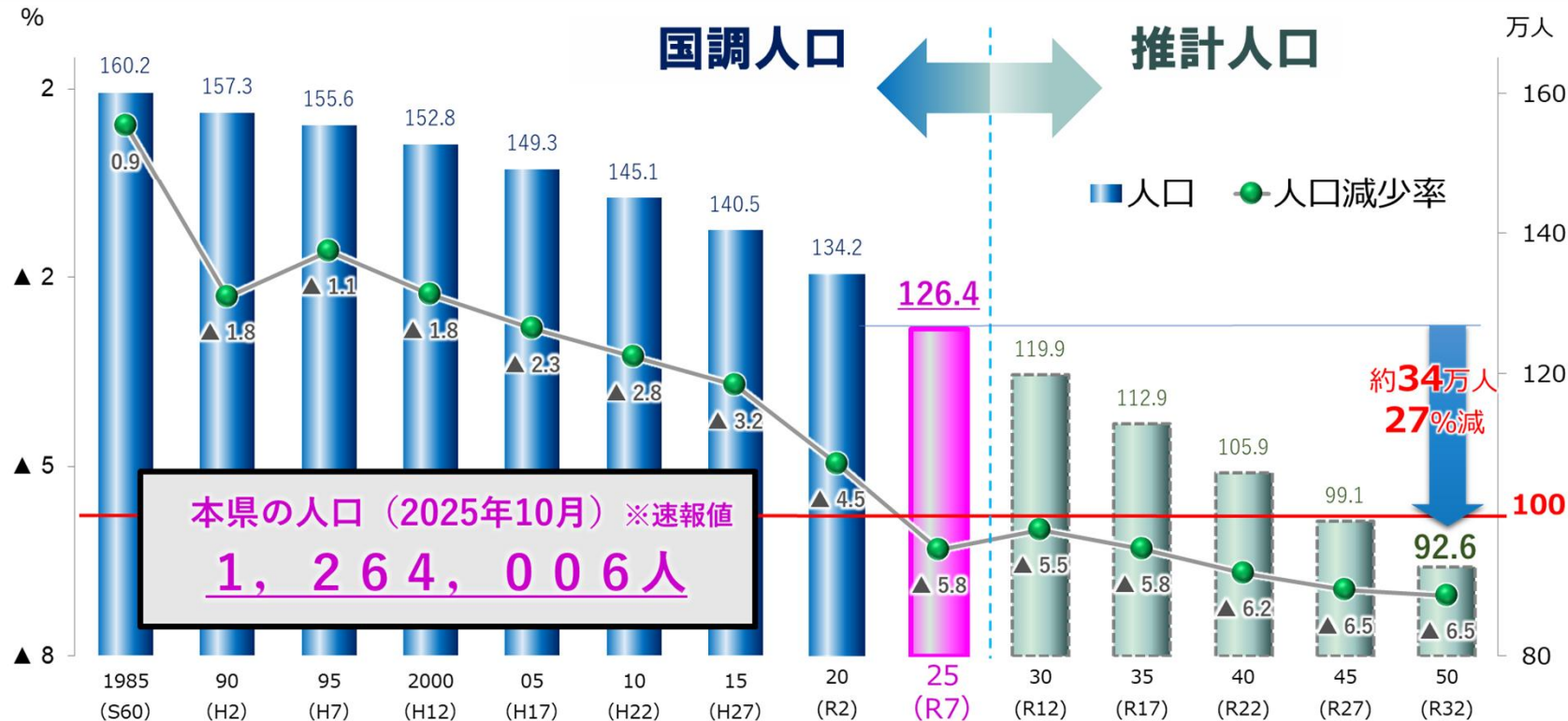
1 本県の人口減少の現状

◆ 昭和60年(1985年)以降、人口減少が続いており、直近の国勢調査(令和7年速報値)では **126万4千人**

※ 人口の減少数(△78,053人)及び減少率(△5.8%)は、過去最大。全市町で減少

※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計減少率(R5推計:△5.5%)を上回る水準

山口県の総人口の推移



総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

《人口推計・住民基本台帳人口移動報告》

- ・ 前回の国勢調査(令和2年)以降、自然減の拡大が続き、社会減も令和5年以降拡大傾向で推移
(参考)自然減 △14,514人(R5⇒R6)
社会減 △1,841人(R5⇒R6)
- ・ 高齢化率が全国的にも高い水準にある中、死亡数が出生数を大きく上回る状態が継続
- ・ 若者を中心に進学や就職に伴う県外流出が続き、とりわけ女性の流出が男性を上回り、出生数に大きな影響

※今後、国の速報値を反映

2 本県を取り巻く環境

《人口減少・少子高齢化》

- ◆ 若者を中心とする社会減と少子化の進行により人手不足が深刻化
 - ▼ R 7 「住民基本台帳移動報告 (1～12月)」
 - 転出超過の拡大は、3年連続
 - 転出超過数(4,907人)は、H26年以降最大
 - ・女性の転出超過は対前年17%増加
 - ・若年層(15～29歳)の転出超過が全体の約8割
 - ・主な転出超過先 (①福岡県、②東京都、③大阪府)
 - ▼ R 7 出生数(6,401人)は10年前と比べ約4割減少
合計特殊出生率(1.32)は過去最低 (全国14位)
 - ▼ R 6 の65歳以上人口は3年連続で減少したが、
高齢化率(35.5)は上昇 (全国6位)
 - ▼ R 6 の生産年齢人口(15～64歳)は53.7% (全国41位)

《国際情勢の不安定化》

- ◆ 世界的なエネルギー価格の急激な変動、物価高騰や資材・部材の供給不安など、県内産業や県民生活への影響が懸念 等

《地球温暖化》

- ◆ 気候変動等に伴う猛暑や集中豪雨などによる事業活動や県民生活への影響が顕在化。また、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化
- ◆ 脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの拡大等に伴い、半導体・蓄電池分野の世界的な市場の拡大が見込まれる
- ◆ 国は、GX戦略地域制度を創設し、新たなGX産業の集積に向けた取組を進める方針 等

《デジタル化》

- ◆ 製造業、農林水産業、観光、医療・福祉などあらゆる分野のDXにより、生産性の向上や新たな価値の創出、社会課題の解決等が進展
- ◆ 生成AIを活用した新たな付加価値の創造など、AX(AIトランスフォーメーション)によるさらなる社会変革や経済成長の可能性 等

3 本県の強みと潜在力

《自然・地理的特性》

- ◆ 三方を特色ある海に開かれ、美しい里山に恵まれた、雄大で多様な自然を有する
- ◆ 多くの島々や半島により天然の良港が形成され、2つの国際拠点港湾と4つの重要港湾を有する
- ◆ 本州と九州の結節点に位置し、高速道路、新幹線、空港などによる良好な交通アクセスと、東アジアに近接する地理的優位性を有する
- ◆ 気候は概して温暖で、風水害や地震も比較的少なく、全体として住みやすい環境
- ◆ 自然や歴史・文化、日本酒やフグ・和牛などの農林水産物等、多彩で全国に誇れる地域資源を有する
- ◆ 中山間地域と都市地域が近接し、地域間の交流や循環が図りやすい環境 等

《産業・人材基盤》

- ◆ 複数のコンビナートを中心として、化学、自動車、医療関係などの大企業が集積する全国有数の工業県
- ◆ 半導体・蓄電池分野に不可欠な部素材において世界シェアを有する企業が立地し、製造装置や部品関連企業も集積
- ◆ 高度なものづくり技術力を有する製造業を中心に、優れた中小企業が多く立地
- ◆ 幕末から明治にかけて多くの人材を育み、時代を切り拓いてきた歴史を有し、人を育てる風土が培われてきた
- ◆ 全国に先駆けて全公立学校に導入したコミュニティ・スクールを基盤に、地域ぐるみで子どもの育ちと学びを支える教育体制が構築・定着している
- ◆ 高校で工業を学ぶ生徒の割合が全国トップクラスであり、産業を支える人材育成の基盤を有する 等

4 これまでの取組の成果

《産業維新》

- ◆ 直近4年間（R4～R7）で、大型投資を含む企業誘致117件と3,000人超の新規雇用を創出
- ◆ 企業誘致での新規投資額は3年連続（R5～R7）で過去最高を更新し、半導体分野をはじめとする成長産業の集積が進展
- ◆ 中小企業のI・T導入率が19.3%（R3）から28.4%（R7）へ向上し、デジタル化が進展
- ◆ 農林水産業において、県内外からの新規就業者の確保・定着を推進（各年度200人超）
- ◆ 高校生等の就職決定率は99%台の高い水準を維持
- ◆ 国際バルク戦略港湾施策の推進や、山陰道・国道2号等の幹線道路網の整備促進など、産業基盤の強化に寄与 等

《大交流維新》

- ◆ 観光客数・観光消費額が増加するとともに、外国人延べ宿泊者数も増加
- ◆ 県産農林水産物等の輸出競争力強化により海外販路が拡大
- ◆ 移住者数は9年連続（H29～R7）で増加 等

《生活維新》

- ◆ やまぐち結婚応援センターを核とした支援の強化により、会員数が順調に増加するとともに、4年間（R4～R7）で2,800件の引き合わせを実現
- ◆ 第2子以降の保育料無償化や不妊治療に係る経済的負担の軽減など、全国トップクラスの支援策を実現
- ◆ 「こども食堂」の箇所数（人口10万人当たり）は全国上位を維持し、子どもの居場所づくりが着実に進展
- ◆ 特色ある学校づくりが進展（文理探究科の設置やハイレベル課外授業の充実等）
- ◆ 県立総合医療センターの機能強化に向けた基本構想を策定（機能・役割や規模、移転候補地を明確化）
- ◆ 郵便局を活用したオンライン診療・服薬指導を全国に先駆けて本格導入
- ◆ 乗合バス事業者におけるキャッシュレス決済機能の導入が全事業者で完了
- ◆ 率先避難体制の整備や公共土木施設の耐震化などにより、防災対策をソフト・ハード両面で強化
- ◆ 県民の安全・安心を確保する総合的な対策の推進により、刑法犯犯罪率・重要犯罪検挙率は、全国上位の安全水準を維持
- ◆ 太陽光発電設備等の事業所・住宅への設置支援や県有施設への率先導入などにより、再生可能エネルギーの導入を推進 等

第 3 章

県づくりの推進方向

1 県づくりの基本目標

「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現

基本方針

「成長と安心の好循環」の創出

- ◆ 人口減少や社会経済状況の変化に的確に対応しながら、持続的な「成長」を生み出す産業力を強化する。
- ◆ こうして得られた成長の果実を、子育てや教育、医療・福祉、地域交通など、県民生活を支える分野に行き渡らせ、人生のどの段階においても不安なく暮らし続けられる、人生100年を支える「安心」を確立する。
- ◆ このように、成長が安心を生み、その安心がさらなる成長を後押しする「成長と安心の好循環」を創出することで、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指す。

《政策推進の2本の柱》

I 持続的な「成長」を生み出す産業力の強化

これまでの成果を基盤に、本県の強みを最大限に活かして「稼ぐチカラ」を飛躍的に伸ばし、社会経済状況の変化に的確かつしなやかに対応しながら、持続的な「成長」を生み出す産業力を強化する。

- G X 産業拠点の形成
- 成長産業の育成・集積
- 中堅・中小企業の成長支援
- 農林水産業の強化
- 観光産業の育成
- 産業人材・基盤の強化

II 人生100年を支える「安心」の確立

将来の人口減少や年齢構造の変化も見据えながら、県民生活を支える様々な分野における地域課題への対策を講じることにより、県民誰もが、人生のどの段階においても、不安を感じることなく歩み続けられる「安心」を確立する。

- 結婚、妊娠・出産、子育ての応援
- 人づくり・誰もが活躍できる社会の実現
- 医療・福祉・健康づくりの充実
- 生活基盤の充実
- 防災・安全対策の強化
- 魅力ある地域づくりの推進

《「成長と安心の好循環」の創出による新たな県づくり》



2 目指すべき将来像

- ◆ 「成長と安心の好循環の創出」の先に見据える、安心で希望と活力に満ちた本県の目指すべき将来像（概ね10年後）を、県民の意見を踏まえ設定する。

3 県政推進の基本姿勢

- ◆ 県民、市町、関係団体、企業・大学等、多様な主体との共創を推進
- ◆ 現場重視・成果重視・スピード重視を基本とした県政運営の推進
- ◆ 活力ある県づくりと持続可能な行財政運営の両立

第 4 章

新たな県づくりに向けた施策の推進

成長・安心プロジェクト

- ◆ これまでの取組の成果を基盤に、成長と安心の好循環の創出による新たな県づくりを推進するため、本県の将来を担う若者や女性に選ばれる県づくりの視点も踏まえ、持続的な「成長」を生み出す産業力の強化と、人生100年を支える「安心」の確立を柱として、12の「成長・安心プロジェクト」を設定
- ◆ プランの進捗状況を測るとともに、目指すべき具体的な成果目標として、各プロジェクトごとに「成果指標」を設定
- ◆ 政策推進の2本の柱の下に、県政の各分野におけるあらゆる施策を体系的に整理し、総合的に推進

I 持続的な「成長」を生み出す産業力の強化

- 1 世界で勝てる GX産業拠点形成
- 2 世界に挑む 成長産業育成・集積
- 3 産業を支える 中堅・中小企業成長支援
- 4 稼ぐ力を高める 農林水産業強化
- 5 地域活力を高める 観光産業育成
- 6 成長を支える 産業人材・基盤強化

II 人生100年を支える「安心」の確立

- 7 希望を叶える 結婚、妊娠・出産、子育て応援
- 8 人生を豊かにする 人づくり・誰もが活躍促進
- 9 健やかに暮らせる 医療・福祉・健康づくり充実
- 10 暮らしを支える 生活基盤充実
- 11 いのちと暮らしを守る 防災・安全対策強化
- 12 次代へつなぐ 魅力ある地域づくり推進

1

世界で勝てる GX産業拠点形成プロジェクト

GXコンビナートへの構造転換や、新たなGX産業の集積などにより、世界で勝てるGX産業拠点の形成を図るとともに、水素利活用や環境ビジネスの創出、中小企業の脱炭素化などを一体的に推進し、脱炭素化を原動力とした本県産業の成長・発展を目指す。

- GX産業拠点の形成に向けた取組の着実な推進
- GX産業の集積・育成
- 循環経済への移行に向けた環境ビジネスの創出 等

2

世界に挑む 成長産業育成・集積プロジェクト

今後も世界市場の拡大が見込まれる成長分野において、次世代半導体部素材や再生医療等の研究開発を起点としたイノベーション創出や、優れた立地環境などを活かした戦略的な企業誘致を推進することにより、本県の稼ぐ力の核となる成長産業の育成・集積を加速する。

- 次世代半導体部素材の研究開発を起点とした成長基盤の構築
- 再生医療等の研究開発の実用化・産業化の推進
- 戦略的な企業誘致の推進 等

3

産業を支える 中堅・中小企業成長支援プロジェクト

物価・エネルギー価格の高騰やデジタル化等の環境変化に的確に対応し、AX/DXの推進などを通じて生産性の向上や新たなサービスの創出を図ることで、産業を支える中堅・中小企業の持続的成長を支援する。また、デジタル関連企業の戦略的な誘致など、若者・女性にとって魅力的な企業を創出する。

- 企業の成長段階に応じた支援の強化
- 若者や女性に選ばれる企業の創出
- デジタル関連企業等の戦略的な誘致 等

4

稼ぐ力を高める 農林水産業強化プロジェクト

これまでの中核経営体や新規就業者の育成・確保の取組に加え、企業参入の促進、若者や女性の活躍推進など担い手対策の充実、AX/DXの推進、新たな技術・経営手法の展開による経営基盤及び生産供給体制の強化、県産農林水産物のさらなる需要拡大に取り組み、農林水産業の稼ぐ力をより一層高める。

- 成長を支える多様な人材や中核経営体の確保・育成
- 生産性の高い県産農林水産物の供給体制の強化
- 農林水産物のさらなる需要拡大 等

5

地域活力を高める 観光産業育成プロジェクト

大型観光キャンペーン（DC）の成果を活かし、国内外からのさらなる誘客拡大に取り組むとともに、観光資源の磨き上げや高付加価値化、戦略的なインバウンド誘客、観光二次交通の充実等、観光消費の拡大につながる取組や、次世代の観光産業を担う人材の確保・育成に一体的に取り組むことで、観光産業の持続的な発展と地域活力の向上を図る。

- DCの成果を活かした観光産業の高付加価値化の推進
- 世界に選ばれる戦略的なインバウンドの拡大
- 次世代につながる観光人材の確保・育成 等

6

成長を支える 産業人材・基盤強化プロジェクト

産業人材の育成・確保に向け、若者や女性に選ばれる職場環境づくりや企業の魅力向上・発信の強化、地域のニーズを踏まえた若者の県内就職・定着支援を一層推進するとともに、女性や高齢者、外国人など多様な人材やデジタル人材の確保・育成を促進する。また、道路や港湾、産業用地、工業用水などの産業インフラを整備・確保することにより、本県産業の成長を支える産業基盤を強化する。

- 高校生・大学生等の県内就職・定着支援の強化
- 外国人材の確保から県内定着までの一体的な支援の強化
- 山陰道等の幹線道路等の整備促進、下関北九州道路の早期実現 等

7

希望を叶える 結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト

若者のライフデザイン形成を後押しするとともに、出会いから成婚までの支援の充実により、結婚の希望が叶う環境づくりを推進する。また、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援の強化、仕事と家庭の両立に向けた環境づくりや保育人材の確保、困難に直面する子どもや医療的ケア児等への支援体制の充実などにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、少子化の進行に歯止めをかける。

- やまぐち結婚応援センターを核とした支援の充実
- 安心して妊娠・出産、子育てができる環境づくりと支援の充実
- 児童相談所、市町こども家庭センターの相談支援体制の強化 等

8

人生を豊かにする 人づくり・誰もが活躍促進プロジェクト

本県の未来を創る子どもや若者が、地域や学校における学びと関わりを通じて主体性や社会性、挑戦し続ける力を身に付け、ふるさと山口への誇りと愛着を育むとともに、地域づくりや県内の様々な分野での活躍につながる人材の確保・育成を進める。また、女性や高齢者、外国人など多様な主体が能力を発揮できる環境づくりを推進し、誰もが活躍し豊かな人生を送ることができる社会の実現を図る。

- 「やまぐちPRIDE」の醸成
- 魅力ある学校づくりの推進、高等教育の充実・強化
- 誰もが個性と能力を発揮できる男女共同参画の推進 等

9

健やかに暮らせる 医療・福祉・健康づくり充実プロジェクト

新たな地域医療構想の策定を通じて、医療資源の最適化や、ICTの利活用等による在宅・へき地医療の充実、医療従事者の確保等による持続可能な医療提供体制の構築を推進する。また、地域包括ケア体制の強化や介護・福祉人材の確保、地域福祉支援の充実、生涯を通じた健康づくりの推進により、誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けられる社会の実現を図る。

- 新たな地域医療構想の策定を通じた持続可能な医療提供体制の構築
- 地域の実情に応じた介護・福祉提供体制の構築
- 生涯を通じた女性の健康課題解決に向けた取組の推進 等

10

暮らしを支える 生活基盤充実プロジェクト

日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化に向けた取組の推進や、空き家の有効活用等による住環境の整備、AX/DXの推進による生活環境の充実や行政サービスの効率化・高度化を図るとともに、スポーツ・文化活動に親しむ環境づくりなどを通じ、利便性や快適性を確保しながら豊かな暮らしと地域活力の創出を推進する。

- 地域公共交通のリ・デザイン（再構築）
- 空き家の有効活用等による良好な住環境の形成
- デジタル技術を活用した生活関連サービスの維持・高度化 等

いのちと暮らしを守る 防災・安全対策強化プロジェクト

大規模地震等に備えた早期避難体制づくりや、道路・橋梁等の耐震化など、ソフト・ハード両面から防災・減災対策を強化するとともに、老朽化が進むインフラのデジタル技術を活用した維持管理の高度化・効率化等を推進する。また、サイバー空間を含む各種事件・事故の抑止・検挙の強化、犯罪被害者への支援の充実等により、安全で安心して暮らせる社会の実現を図る。

- 南海トラフ地震の被害想定の見直し等を踏まえた防災・減災対策の推進
- 人口減少やインフラの老朽化の進行を踏まえたインフラメンテナンスの高度化・効率化
- 犯罪・交通事故の防止対策・対応体制の強化 等

次代へつなぐ 魅力ある地域づくり推進プロジェクト

人口流出が顕著な若者や女性を中心とした移住・定住の促進や、関係人口を活かした人材の新たな結びつきの創出、中山間など地域における活力の維持・創出を一層推進する。また、農山漁村の持続的な発展に向けた取組や、再生可能エネルギーの地産地消の加速化等による地域脱炭素の推進などを通じ、地域の魅力を高め、安心して希望と活力に満ちたやまぐち暮らしを次世代へ引き継ぐ。

- 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議を通じた移住・定住の取組強化
- 「やまぐち元気生活圏」づくりの充実など地域における活力の維持・創出
- やまぐち版地域脱炭素の推進 等

第 5 章

新たな行財政改革の推進

第 6 章

プランの着実な推進

新たな行財政改革の推進

- ◆ 将来に希望をもって暮らすことのできる山口県を創っていくためには、行財政基盤の一層の強化が不可欠なことから、様々な行政課題に的確かつ機動的に対応していくための行財政基盤の構築に向け、新たな行財政改革に取り組む。

プランの着実な推進

- ◆ 「成長・安心プロジェクト」の着実な推進を図るため、外部の知見も活用し、総合的な進行管理を行えるよう推進体制を整える。
- ◆ 進行管理は、各プロジェクトごとに設定した成果指標の達成状況や主要施策の進行状況を把握し、成果の検証を行った上で、必要に応じて施策や事業の改善を図るPDCAサイクルにより進める。

今後の策定スケジュール（予定）

令和8年

（4月23日 第1回山口県活力創出本部会議 策定方針決定）

6月16日 第2回山口県活力創出本部会議 骨子案決定

6月県議会 骨子案を県議会に報告

7～10月頃 元気創出！どこでもトーク【地域懇談会】の開催

11月頃 素案作成 ⇒ 県議会に報告

12月頃 パブリックコメント実施

令和9年

2月頃 最終案作成 ⇒ 県議会に報告

3月頃 策定・公表